

なぎさ



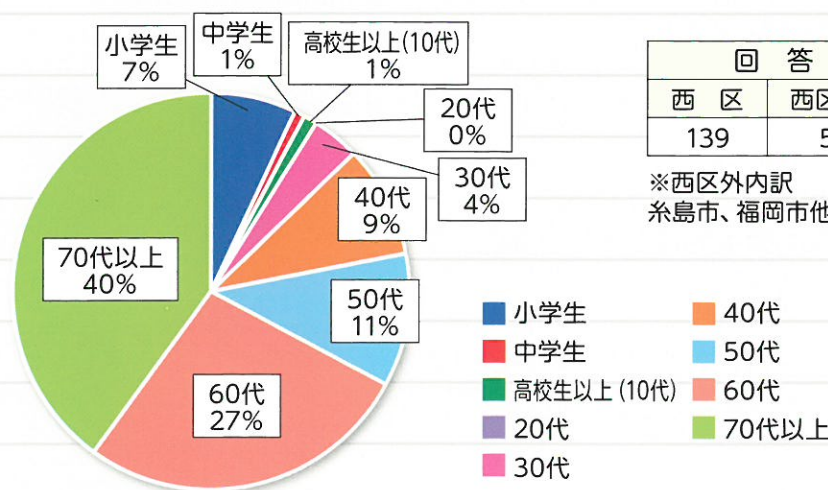
あなたと輪を広げたい

参画で気づこう 活かそう 男女の視点を

(平成30年・令和元年度 西区男女共同参画をすすめる会 年間テーマ)

アンケートにご協力いただき ありがとうございました!

男女共同参画フェスティバル2019では、ご来場の皆さんを対象にご家庭での家事の分担についてアンケートを取りました!
今回はその中でも「食事」と「洗濯」についてお尋ねしました。



回答者数		
西区	西区外	未記入
139	5	7

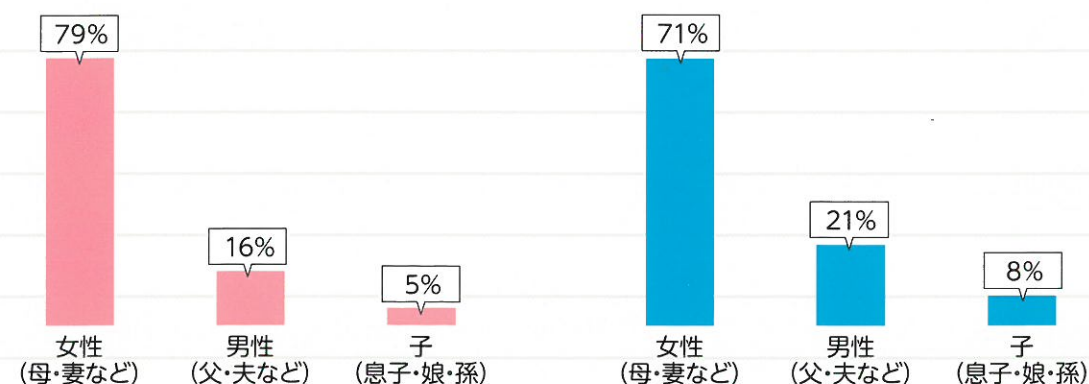
※西区外内訳
糸島市、福岡市他区

- 小学生
- 中学生
- 高校生以上(10代)
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上



○食事について (献立を考える、料理を作る、食器洗い)

○洗濯について (洗濯機を回す、干す、取り込む)



編集後記

あとを絶たない児童虐待死事件を受けて、児童虐待防止法が4月から施行される。しかしこれで虐待をなくすのは無理だと思う。親権(民法)に懲戒権・学校教育法にも懲戒権が残ったままだ。『子どもの権利条約(あらゆる形態の身体的もしくは精神的な暴力から子どもを守る義務)』を浸透させることの方がよいのではないだろうか。

『子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である。』コルチャック

角 敏秀(愛宕校区)

あいさつ



会長 井 規子

男女共同参画って何をすればいいんだろう…?
きっと委員の多くが疑問に思っていることでしょう。

『地域において男女が共に支え合い、安全・安心で住みよい地域社会を目指す』と、『福岡市男女共同参画基本計画』の基本目標6に謳ってあります。地域においての女性の活動は多岐にわたっていると思いますが、中には、何で私たちが?と思いながらも、ずっとそうしてきているから、この一年間やればいいことだしなどと思ったことはありませんか。そんな時こそが男女共同参画の出番です。誰もが、自分の大切な時間を割いて、地域のボランティア活動をしているのです。納得できないことに、時間をつぶすなんて『もったいない』でしょう。自分がつまらないと思うことは、ほかの人もそう思っているかもしれません。面倒かもしれませんが、一度立ち止まって、『なぜ、この活動が必要なのか、なぜやってきているのか、ほかの人では出来ないのか』などと考えてみませんか。何だかモヤモヤしているけど、その理由が良くわからない時もそうです。

西区男女共同参画をすすめる会では、委員研修会や意見交換をとおして、そういった問題と向き合う場を設けています。

自分の周りから少し視線を遠くに巡らせば、違った考え方や、新しい気づきがあるかもしれません。少しでも社会の役に立てばと言う貴重な意欲を、自分も楽しい、皆も楽しい活動に変えていく。楽しければ、その雰囲気は周りにも伝染します。心楽しい地域活動になることを願っています。

西区男女共同参画フェスティバル2019 ～何でもチャレンジ みんな来ん祭～

日時 11月30日(土)13:30～15:30 会場 さいとぴあ 多目的ホール 他

西区男女共同参画推進奨励賞表彰式

地域で男女共同参画を实践・推進し、地域の男女共同参画社会の形成に貢献している個人や団体に対し、毎年、西区が表彰を行っています。今年には3人の方が受賞されましたので紹介いたします。(敬称略)



やまさき かずみ
山崎 一美 (周船寺校区)



しば ひでこ
柴戸 秀子 (内浜校区)



こふかた きみよ
小深田 紀美代 (吉岐東校区)

ステージ

九州大学落語研究会



九州大学落語研究会の六松亭花火(ろくしょうていはなび)さんに、『厩火事(うまやかじ)』という古典落語を口演していただきました。

落語では、夫婦の間の家事と仕事が出てきましたが、今の時代は、老若男女問わず求められるものになってきています。

今ベストセラーになっている『名もなき家事』という本があります。

これは、タイトル通り、名前がついていない家事、つまり家事をする前にする家事とでもいいでしょうか、一つ例をあげれば、『ゴミ捨て』に至るまで。家中のゴミ箱からゴミを集めてゴミ袋に入れ、ゴミ箱にまた袋をセットして、元の場所に設置するなど。

『家事』と言えども、やることは沢山あります。家族が労りながら『家事』もやっていけるといいですね。日頃、当たり前と思っていることは、果たしてそれは当たり前なんだろうかとちょっと疑ってみる。そういうことから、多様性は生まれるのではないかと考えています。

六松亭花火さんは女性で、彼女のお話にもありましたが、昔は、男社会の落語界も今は女性が増えつつあるようです。プロの女性落語家が一層活躍してくれることを期待します。松尾 裕美(福重校区)

福岡舞鶴高校男子新体操部

この度私は、西区男女共同参画フェスティバル2019に福岡舞鶴高校男子新体操部OBとして賛助出演させていただきました。私の想像を遥かに超えたお客さんの数で緊張しましたが、とても楽しく踊らせて頂きました。

男女共同参画という事で、「男が強く、女が弱い」という社会の偏見を変える活動をされていると思うのですが、新体操界では逆に男子の方が受け入れられない状態が続いています。オリンピック種目に女子はあるのに男子はありません。

私が高校生の時には、「男子新体操部はキモい。」と言われたこともありましたが、でも私は、これまで出会ってきたどんなスポーツよりも、この男子新体操が美しくかっこいいと心から思っています。

早く日本中、いや、世界中の人々に男子新体操を知ってもらえるよう願います。

(福岡舞鶴高校男子新体操部OB 奥田 敦志さん)



参加体験型イベント

リース・松ぼっくりツリー作成班

楽しみながら下準備ができ、来場された方々にも、喜んでツリー・リース作りに参加してもらえたため、とても充実したフェスティバルでした。



仲原委員

河本委員

オリジナル菜作成班

子どもの自由な発想の菜もでき、カルタも若いママたちが楽しそうに選んでいました。何より楽しんで、喜んでやれた事が今回のフェスティバルの結果につながったと思っています。



一宮委員

フェスティバルを企画してみよう～実行委員より～



進藤委員



西川委員

防災ブース班

ビニールで雨合羽、新聞紙でスリッパづくりの会場では、親子連れの方が参考にと、一生懸命習っていました。展示品段ボールベッド・簡易トイレなど興味を持たれ、熱心に見られる方が多かったようでした。ブースメンバーも楽しみながら対応できました。



岩橋委員

バルーンアート班

何色にする?犬、それとも花がいい?ほら、できた!!目を輝かせる子どもたちと見守る両親。とても楽しい時間でした。

“今までのフェスティバルとは違ったものに”との思いから…

原田 実行委員長 (北崎校区)



6月の第1回委員交流会で、初のフェスティバル実行委員7名が選出されました。

実行委員で最初に決めたのは、「男女共同参画を子どもから大人まで、多くの人に知ってもらう為の『参加型』にしよう」でした。

その中で、実行可能で男女共同参画をアピール出来るものとして選んだのが、男社会のイメージが強い「落語」を九大落研の女性に、女性イメージが強い「新体操」を福岡舞鶴高校の男子新体操部に演じていただくことでした。

また、各ブースでも、防災ブースでの体験と作業、男女共カルタの言葉が入った菜、バルーンアート、リースと松ぼっくりツリーをハンドメイドしてもらい、楽しみながら参加者の個性を出せるように、委員がアドバイスをすることなどに取り組みました。

これから、もっと多くの方に男女共同参画を知って参画していただきたい。その為のやり方は色々あると思いますが、「できる人が、できる時に、できる事を」押し付けではなく、皆さんに喜んで参画していただき、これからもっと「男女共」を身近に感じていただけるようになればと思います。

最後にお忙しい中ご来場いただいた方々、またご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。